

第三セクター改革プランの進捗状況及び今後のスケジュール

財団法人岩木振興公社

第三セクター改革プラン	①岩木振興公社が岩木山周辺の観光振興の中心的な役割を果たし、地域観光振興に寄与する公益事業等を積極的に展開していくため市との協力体制を強化していく。	
取組事項	「弘前感交劇場」推進の施策と連携して、新たな視点からの商品開発などの提案や、財団が行う地域観光振興に寄与する公益事業等への応援体制を構築していく。 (実施年度) 平成 22 年度～平成 24 年度	
これまでの取組状況	平成 22・23 年度	<ul style="list-style-type: none"> 市から観光関連情報の提供を行った。 弘前感交劇場やわかネットへ関連情報の収集・提案を依頼した。
	平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集については市以外からのものを含め継続し、市として提供できる情報は随時提供している。
改革プランの進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 岩木ならではのプランを探し出すため、情報収集を継続中。 公益事業の応援体制については、平成 25 年度中の法人移行申請に向けた作業を行なっているため現状維持となっている。 	
改革プラン推進に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> いわき荘の商品プランは岩木地区に因んだものがほぼ整備されているため、新規の資源を探し出すのが難しい状況である。 	
平成 25 年度スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集については継続し、市として提供できる情報は随時提供していく。 公益事業の応援体制については、法人移行手続きが今年度中に終了する予定となっており、改めて財団と協議しながら整備していくこととする。 	

<p>第三セクター 改革プラン</p>	<p>②スキー場運営について、岩木振興公社と協力しながら経営健全化計画を達成するための経費削減策や収益増収策を検討・実施していくとともに、スキー場関連施設等の通年利活用策を検討していく。</p>
<p>取組事項</p>	<p>岩木山百沢スキー場、そうまロマンチックピアスキー場及び岩木山総合公園の指定管理者として、3施設の一体的な管理運営による経費削減策や収益増収策の実施と、通年利活用が図れるイベント開催などを検討していく。 (実施年度) 平成22年度～平成25年度</p>
<p>これまでの 取組状況</p>	<p>平成22・23年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族、子供を対象としたイベント等の開催や、グリーンシーズンの利活用策を検討した。 ・岩木・そうま両スキー場の決算・経営状況を分析し、経費削減策の検討を始めた。 <p>平成24年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩木観光施設事業経営健全化計画の実施状況を確認しながら、社会体育施設あり方等検討市民懇談会の提言を踏まえて決定された市の方針を達成するための取り組みを進めることとした
<p>改革プランの 進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲレンデ部分のグリーンシーズンを含めた通年利活用策の検討は進んでいない。
<p>改革プラン推進に 向けての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー場の経費削減策については、人員削減などギリギリまで削り込んでいる状態であり、これ以上は非常に難しい状況である。 ・スキー場ゲレンデを荒廃させない利活用策では、新たな設備投資が不要なメニューが探し出せない状況である。
<p>平成25年度 スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岩木観光施設事業経営健全化計画の実施状況を確認しながら、平成27年度での資金不足解消を達成目標とし、社会体育施設への移行を検討する。

<p>第三セクター 改革プラン</p>	<p>③公益法人改革による財団の位置づけや方向性を考慮しながら、長期的な事業運営のための施設等の取扱いや維持修繕費用の負担方法を検討していく。</p>	
<p>取組事項</p>	<p>施設の修繕・改修等の費用の負担方法や、長期的事業運営に係る施設等の位置づけ等を、岩木振興公社と綿密な協議を行ったうえで、市としての方針を打ち出す。 (実施年度) 平成 22 年度～平成 23 年度</p>	
<p>これまでの 取組状況</p>	<p>平成 22・23 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕、改修等費用の負担方法を検討した。
	<p>平成 24 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き施設の修繕、改修等費用の負担方法を検討した。 ・指定管理期間の見直しなど、長期的事業運営に対応する方策を検討している。
<p>改革プランの 進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕、改修等費用の負担方法は検討中である。 	
<p>改革プラン推進に 向けての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合交流ターミナル及び国民宿舎いわき荘など、施設の所有と設備投資等の関係が複雑になっているため、整理する必要がある。 	
<p>平成 25 年度 スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の所有と設備投資等の関係の整理については、公益法人改革による法人移行に関わる手続きの状況を考慮し、指定管理期間の見直しを検討しながら、岩木・そうま両財団の整合性をとり、財政担当・財産担当と綿密な協議を行っていく。 	

<p>第三セクター 改革プラン</p>	<p>④「財団法人星と森のロマントピア・そうま」との連携や統合の検討を進める。</p>	
<p>取組事項</p>	<p>「財団法人星と森のロマントピア・そうま」との連携を図るため、財団相互の職員派遣、職員研修及び情報交換（経営アドバイス）を進めていく。 （実施年度）平成22年度～平成24年度</p>	
<p>これまでの 取組状況</p>	<p>平成 22・23年度</p>	<p>・岩木振興公社からロマントピアへの経営アドバイス、協力体制等を準備・整備した。</p>
	<p>平成 24年度</p>	<p>・岩木振興公社からロマントピアへの経営アドバイス等を行なえる体制をとっている。</p>
<p>改革プランの 進捗状況</p>	<p>・両財団の経営状況等を比較のうえ、検討を進めている。</p>	
<p>改革プラン推進に 向けての課題</p>	<p>・統合については、地元関係者の意向等も確認しながら、両財団との協議を進めていく必要があると思われる。また、修繕・改修経費の負担方法の違いも大きな問題となっており、両財団の経営状況が異なるためどちらかに統一することは容易ではないと思われる。</p>	
<p>平成25年度 スケジュール</p>	<p>・統合については、公益法人改革による財団移行の状況を踏まえて、地元関係者の意向等も確認しながら、引き続き両財団との協議を進めていく。 ・ロマントピアは先行して平成25年4月に一般財団法人へ移行している。</p>	